

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	2	・アセスメントを丁寧に行い、子どもの状況に合った児童発達支援計画の作成に努めている。	・アセスメントをより細やかに行うために、評価法を学ぶ機会を増やしているが、全職員が習得するまでには時間がもう少しかかる。・アセスメントの不足を感じる。新入園児は特に丁寧なアセスメントを行う必要がある。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	・PEP-Rを使用しているが、全員分とることができていない。	・アセスメントツールを使用して、それぞれの力を知り、適応行動の状況を図る必要がある。・保護者のニーズを聴き取り、子どもの現状を知るためには、アセスメントにはもっと力を入れていく必要がある。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1	・発達支援が主。保育所等訪問支援等の多様な支援も望まれる。 ・内容もガイドラインに沿った項目を選定し、児童発達支援計画を作成している。	・適切な児童発達支援計画作成のために、個別支援計画会議を定期的実施する
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	・実施が不十分な部分もある。	・支援計画の立案に際してアセスメントを実施し、適切な目標の作成を行う。 ・モニタリングを確実に実施する(期のまとめの作成や中間面談の実施)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	・通園会議はもとより、クラス別会議の時間も設け、チームでの立案を心がけている。	・会議や打ち合わせの効率化を図りながら、チームワークを引き続き維持する。 ・体制上、一人で立案した時期もあった。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	・課題の固定化を避けるため、月間カリキュラムの作成時に課題の選定を行う ・同じ活動でも、内容を少し変化させたり、レベルアップするように工夫している。	・年間カリキュラムを作成し、課題のマンネリ化を防ぐ ・反面、課題によっては固定化が必要な場合もある
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9	0	・今年度より個別療育を開始した。 ・小集団や他クラスとの交流など活動の場を工夫している。	・適切な児童発達支援計画作成し、活動の場の組み合わせを考慮する。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	・打ち合わせは、クラスごとに行い、役割分担や子どもへの関りなどについて紙面でも掲示して確認をしている。	・打ち合わせを継続して確実にやる。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3	・日々の記録に支援の振り返りは記載し、気付いた点等を共有している。 ・振り返りについては、できてない日もある。	・共有するだけでなく、解決のためのカンファレンスを行う時間が少ないので、検討の機会を継続して設けたい。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2	・再度書式を変更。個別支援計画とリンク化し、目標を意識できるよう工夫を行っている。	・記録の書式変更で、より個別支援計画に沿った支援に繋がっていると感じる。継続したい。	